

第14回 コムズフェスティバル

平成25年1月26日(土)・27日(日)

つながろう つなげよう 男女共同参画の輪

すべての人が自分らしく、いきいきと生きる。

そのきっかけになるように、今年度も開催されたコムズフェスティバル。

今年度のテーマは「つながろう つなげよう 男女共同参画の輪」。

基調講演は作家の林真理子さんを講師に、「私の仕事から」と題し、ご講演いただきました。

後半は、立花貴さん(一般社団法人 3.11 震災孤児遺児文化・スポーツ支援機構 常任理事)にご参加いただき復興支援について語っていただきました。

基調講演 「私の仕事から」

講師：林 真理子さん (作家)



《プロフィール》

1954年山梨生まれ。日本大学芸術学部を卒業後、コピーライターとして活躍。82年エッセイ集「ルンルンを買っておうちに帰ろう」がベストセラーとなる。86年「最終便に間に合えば」「京都まで」で第94回直木賞を受賞。95年「白蓮れんれん」で第8回柴田錬三郎賞、98年「みんなの秘密」で第32回吉川英治文学賞を受賞。主な著書に「葡萄が目にしみる」「本を読む女」「不機嫌な果実」「anego」「美女入門」「本朝金瓶梅」「下流の宴」「六条御息所 源氏がたり」「地獄の沙汰も美女次第」「やんちゃな時代」などがあり、現代小説、歴史小説、エッセイと、常に鋭い批評性を持った幅広い作風で活躍している。



林真理子さんの講演を楽しみに、多くの市民の方が参加されました。作家として、一人の女性としての在り方、生き方をユーモアを交えて語られました。



東日本大震災で親を失った子どもたちが、将来の夢をかなえるための活動についても、熱く語られました。



現地で復興支援に尽力されている立花貴さんは、被災地の現状、支援活動や復興にかける強い想いを語られました。

今回の講演には320名（女性：282・男性：38）の市民の方にご参加いただきました。
アンケートでは、「大変よかった」・「よかった」と回答された方は9割に達しました。

《参加者の声》

- ・愛読者の一人として来ましたが、林さんの生き方、考え方、行動力にますますファンになりました。40代女性は、子育てと仕事の両立が一番大変な時期だと語られる姿に、今の私のことだと心強く思いました。（40代・女性）
- ・3.11 塾での活動など、遠方の私たちが知らない情報を得ることができました。（40代・女性）
- ・3.11 後の様子を現場の方から聞くことができて良かったです。立花さんのような若い方の働きに、日本の未来に希望が持てました。（60代・女性）
- ・私生活を交えてのトークと、現在の30代・40代の女性の方々の考え方の話がおもしろく、考えさせられました。（60代・男性）

など、林真理子さん・立花貴さんのお人柄や活動に触れ、東日本大震災のその後について改めて考える機会となりました。



皆さんに支えられて



今回、「コムズ白熱教室 2012」を担当した松山東雲女子大学の学生さんたちが、1月26日（土）の基調講演では「コムズサポーター」として大活躍！！
受付では、輝く笑顔と明るい挨拶で参加者の方々を迎えてくれました。



会場に素敵なお花を飾ってくださったのは、コムズ登録団体の「スイートピー」さんです！



多くの方々のご協力により、2日間にわたって、盛況のうちに開催することができました。



各市民企画分科会の実行委員会からの報告につきましては、講座・イベント一覧「第14回コムズフェスティバル」の各市民企画分科会の欄をご覧ください。
PDF形式でご覧いただけます。